委員会活動報告

平成30年3月31日現在

- 教 育 委 員 会
- 広 報 委 員 会
- 情 報 委 員 会
- •接遇向上委員会
- 医療観察法運営委員会
- 医療安全対策委員会
- リスクマネージャー委員会
- 行動制限最小化委員会
- 院内感染防止対策委員会
- I C T 委 員 会
- 褥 瘡 対 策 委 員 会
- N S T 委 員 会
- 薬 事 委 員 会
- ・病院食検討委員会
- ・衛生委員会・退院支援委員会
- 業務改善委員会
- •未収金対策委員会
- •心理社会療法委員会
- ・デイケア科運営委員会
- 事 後 審 査 委 員 会



教育委員会

委員長:神田由香里•事務局:田中光生

【構成員】

8名(看護師5名 薬剤師2名 精神保健福祉士1名)

月日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎月	定例会議 第2水曜日 15:00 Evening studies 企画・新人研修・院内研究発表の実施・評価・年間計画の確認
平成29年 4月	1. 定例会議:12日 (1) 報告事項:①平成29年度プリセプター研修報告②平成29年度新規採用者研修報告 ③平成29年度新規採用者看護技術研修・防災研修報告④アクションプラン報告 (2) 協議事項:①新旧委員の引継ぎ②平成29年度の教育活動・研修の担当者決め 2. 研修運営:(1) 4月5日・6日 新規採用者看護技術研修・防災研修 (2) 4月13日 院内研究発表会 (3) 4月26日 ケースレポート発表会
5 月	 定例会議:10日 (1) 報告事項:①平成29年度ケースレポート発表会報告 (2) 協議事項:①企画書の内容確認②Evening studiesにおける教育委員の役割に関して ③Evening studies・義務研修欠席者への対応に関して 2. 研修運営:(1) 5月10日 新規採用者1ヶ月目研修 (2) 5月11日・12日 新年度院長講演
6 月	1. 定例会議:14日 (1) 報告事項:①院内研究発表会報告②新規採用者1ヶ月目研修報告 (2) 協議事項:①義務研修Evening studiesに関して ②前年度新人ケースレポート未発表者への対応に関して 2. 研修運営:(1) 6月13日 アシスタント研修 (2) 6月15日・16日 Evening studies医療安全1回目 (3) 6月29日・30日 Evening studies行動制限1回目
7 月	1. 定例会議:12日 (1) 報告事項:①Evening studies医療安全1回目報告②アシスタント研修報告 (2) 協議事項:①Evening studies研修計画企画確認 ②拡大ケース検討会の日程等、今後の方向性について 2. 研修運営:(1) 7月6日 拡大ケース検討会1回目(情報提供部署:デイケア科) (2) 7月7日 高知大学医学部名誉教授 井上新平先生講演会 (3) 7月12日・13日 Evening studies感染防止・ICT1回目 (4) 7月25日 新規採用者3ヶ月目研修・プリセプター研修
8月	1. 定例会議: 9日 (1) 報告事項:①新規採用者 3 ヶ月目・プリセプター研修報告 ②Evening studies感染防止・ICT 1 回目研修報告 (2) 協議事項:①精神科救急講演会(平田顧問)についての調整②義務研修レポートについて 2. 研修運営:(1) 8月10日 新規採用者外部研修(長岡) (2) 8月22日 役職者及び接遇委員研修(院長による講演) (3) 8月24日・25日 Evening studies移乗・移動
9月	1. 定例会議:13日 (1) 報告事項:①拡大ケース検討会報告1回目②新規採用者外部研修(長岡)報告 ③Evening studies移乗・移動報告④役職者研修報告 (2) 協議事項:静注DVD研修について 2. 研修運営:(1) 9月は研修なし
10月	1. 定例会議:11日 (1) 報告事項:①精神科救急講演会(平田顧問)報告 (2) 協議事項:①新人研修とプリセプター研修の同日開催の是非について ②静注DVD研修スケジュール確認 2. 研修運営: (1) 10月6日 精神科救急講演会(平田顧問) (2) 10月11日 新規採用者6ヶ月目研修・プリセプター研修



月日	議 事 及 び 活 動 内 容
11月	 定例会議:8日 (1) 報告事項:①新規採用者6ヶ月目・プリセプター研修報告 (2) 協議事項:①Evening studies研修計画企画確認 ②教育研修に関する広報委員会との連携について③SSTリーダー研修に関する調整 2. 研修運営:(1) 11月8日・9日 Evening studies院内感染・ICT2回目 (2) 11月18日 看護補助者のための研修会 (3) 11月21日・22日 SSTリーダー育成研修会 (4) 11月30日 拡大ケース検討会2回目(情報提供部署:2階病棟)
12月	1. 定例会議:13日 (1) 報告事項:①外部講師による接遇研修報告②SSTリーダー育成研修報告 ③拡大ケース検討会2回目報告④Evening studies院内感染・ICT2回目報告 (2) 協議事項:①次年度ケースレポート発表会についての検討②次年度以降の義務研修についての検討 2. 研修運営:(1) 12月4日~8日 静注DVD講習会 (2) 12月5日 Evening studies外部講師による接遇研修 (3) 12月13日・14日 Evening studies医療安全・CVPPP2回目
平成30年	 定例会議:10日 (1) 報告事項:①Evening studies医療安全・CVPPP 2 回目報告 ②静注DVD研修報告 (2) 協議事項:次年度新規採用者研修のプログラム等についての確認 2. 研修運営:1月17日・18日Evening studies行動制限2回目・褥瘡(インフルエンザ流行にて中止)
2月	1. 定例会議:14日 (1) 報告事項:①特になし (2) 協議事項:①Evening studies研修計画企画確認 ②次年度新規採用者研修の日程・講師等についての確認 ③次年度新規採用者研修の内容検討④次年度の教育計画について検討 2. 研修運営:2月は研修なし
3 月	1. 定例会議:14日 (1) 報告事項:①新規採用者1年目研修・プリセプター研修報告 (2) 協議事項:①次年度以降における中途採用者の研修について②研修カレンダー作成について ③教育委員の研修出席依頼について 2. 研修運営:(1) 3月7日 新規採用者1年目研修・プリセプター研修 (2) 3月7日・8日Evening studies行動制限2回目・褥瘡(振替分) (3) 3月28日 平成30年度プリセプター研修 (4) 3月29日・30日 平成30年度新規採用者研修

※Evening Studies:院内研修の名称。業務終了後の17時15分より職員へ自主的な知識・技術獲得の機会を提供している。 環境を整えることによって、個々の医療スタッフとしてスキルアップを図っている。

【評 価】

- ・新人・プリセプター研修の充実を図ると同時に年間5回の研修を実施。ケースレポート18題の発表につながった。
- Evening Studies (病院独自の集合教育) 年間12題の研修プログラムを提供。全職員対象で平均参加人数81名/日 (職員全体の約4割が参加)
- ・ファシリテーションスキルアップとして拡大ケース検討会(2回/年)実施。全職員対象で2回の合計参加人数89名。
- ・SSTリーダー育成研修を12名が受講し、SST普及協会規定による初級認定修了証の交付を受けた。
- 院内研究発表会 6 題。

集合教育の参加人数が減少している昨今、特に義務研修における欠席者へのレポート提出を義務化したのが本年度最大の特徴であり、研修参加者の顕著な増加が見られた。

魅力あるテーマ作りが教育委員会に課せられた使命であるため、自ら能動的に研修へ出席できるよう各委員会と連携し、より良い研修内容の検討と、職員の能力に沿った研修内容の提供が急務である。

文 責 田中 光生

広報委員会

委員長:細野政昭•事務局:渡辺達生

【構成員】

8名(看護師2名 精神保健福祉士1名 作業療法士2名 事務員3名)

月日	議事及び活動内容
毎月	 ・定例会議 第1木曜日16:00 ・法人内外広報誌「すずらん」「ふれあい」(年間3回)の発行 ・ホームページ管理・運営 ・Evening Studies 法人行事の撮影記録 ・Annual Report (年報)の発刊
平成29年 4月	1. 定例会議:11日 (1) 報告事項:①ホームページ集計、更新状況報告 ②広報誌進捗状況報告 ③年報進捗状況報告 (2) 検討事項:①29年度活動体制について ②行事予定の確認と記録担当者振り分け 2. 活動記録 (1) 行事の撮影記録:①院内研究発表会 ②ケースレポート発表会
5 月	1. 定例会議:2日 (1) 報告事項:①ホームページ集計、更新状況報告 ②広報誌進捗状況報告 ③年報進捗状況報告 (2) 検討事項:①年間スケジュールについて 2. 活動記録 (1) 行事の撮影記録:①新規採用者1か月目研修 ②院長講演
6 月	 定例会議:1日 (1) 報告事項:①ホームページ集計、更新状況報告 ②広報誌進捗状況報告 ③年報進捗状況報告 (2) 検討事項:①写真撮影、カメラについて ②ホームページ掲載内容について 2. 活動記録 (1) 行事の撮影記録:①アシスタント研修 ②Evening Studies (医療安全) ③Evening Studies (行動制限) (2) その他:①新年度にあたりホームページ掲載内容の見直し、修正 ②広報誌5月号発行
7月	1. 定例会議:6日 (1) 報告事項:①ホームページ集計、更新状況報告 ②広報誌進捗状況報告 ③年報進捗状況報告 (2) 検討事項:①特になし 2. 活動記録 (1) 行事の撮影記録:①拡大ケース検討会 ②院内特別講演 ③Evening Studies (感染・ICT)
8月	1. 定例会議: 3日 (1) 報告事項:①ホームページ集計、更新状況報告 ②広報誌進捗状況報告 ③年報進捗状況報告 (2) 検討事項:①アクセス数の減少について ②病院祭チラシについて ③ホームページ掲載内容 について 2. 活動記録 (1) 行事の撮影記録:①院長講演(接遇・役職者対象)②Evening Studies(移乗・移動) ③市内病院対抗球技大会 ④新潟まつり大民謡流し
9 月	1. 定例会議:7日 (1) 報告事項:①ホームページ集計、更新状況報告 ②広報誌進捗状況報告 ③年報進捗状況報告 (2) 検討事項:①アクセス減少について ②資料、PCの整理について 2. 活動記録 (1) 行事の撮影記録:①救助袋訓練 ②病院祭 (2) その他:①広報誌9月号発行



10月	 定例会議:5日 報告事項:①ホームページ集計、更新状況報告 ②広報誌進捗状況報告 ③年報進捗状況報告 検討事項:①ホームページリニューアルについて 活動記録 行事の撮影記録:①Evening Studies(平田顧問) ②新規採用者研修・プリセプター研修 ③防災訓練
11月	 定例会議:2日 (1) 報告事項:①ホームページ集計、更新状況報告 ②広報誌進捗状況報告 ③年報進捗状況報告 (2) 検討事項:①ホームページリニューアルについて ②ホームページ掲載記事について ③広報誌掲載内容について 2. 活動記録 (1) 行事の撮影記録:①Evening Studies (感染・ICT) ②SSTリーダー研修 ③拡大ケース検討会 (2) その他:①年報発刊
12月	 定例会議:7日 (1) 報告事項:①ホームページ集計、更新状況報告 ②広報誌進捗状況報告 ③年報進捗状況報告 (2) 検討事項:①当院への施設見学などの対応について ②Evening Studiesの報告書について ③フェーズ別対策の告知、掲載方法について 2. 活動記録 (1) 行事の撮影記録:①ランチョンDVD研修 ②Evening Studies (接遇) ③クリスマス点灯式 ④忘年会 ⑤施設見学 ⑥Evening Studies (医療安全) (2) その他:①ホームページリニューアルにあたり業者よりプレゼンあり、業者を決定 ②お見舞いメールを休止
平成30年 1月	 定例会議:4日 報告事項:①ホームページ集計、更新状況報告 ②広報誌進捗状況報告 ③年報進捗状況報告 検討事項:①メール、資料の共有について 活動記録 行事の撮影記録:①Evening Studies(行動制限) その他:①広報誌1月号発行 ②フェーズ別対策についてホームページ上で告知、掲載
2月	1. 定例会議:16日 (1) 報告事項:①ホームページ集計、更新状況報告 ②広報誌進捗状況報告 ③年報進捗状況報告 (2) 検討事項:①新ホームページデザイン案について 2. 活動記録 (1) 行事の撮影記録:①看護職就職ガイダンス ②Evening Studies(退院支援) ③プリセプター研修
3 月	 定例会議:1日 報告事項:①ホームページ集計、更新状況報告 ②広報誌進捗状況報告 ③年報進捗状況報告 検討事項:①新ホームページについて 活動記録 行事の撮影記録:①新規採用者1年目研修・プリセプター研修 ②Evening Studies (褥瘡・行動制限) ③平成30年度新規採用者研修・プリセプター研修 その他:①新ホームページ確認作業 ②サーバー移転に伴うメール設定

ホームページ運営に関しては、不正アクセスによるアクセス数の減少があり、安全性の向上と、利用者の利便性を高めることを含め、現在のニーズに合ったホームページを平成30年度初めに全面リニューアルする予定となった。リニューアルに向けデザイン、機能、使いやすさについて細部まで検討することができた。今後のアクセス数の増加を期待したい。更新作業については、よりタイムリーに掲載できるよう検討を行い、教育委員会との連携で改善することができた。

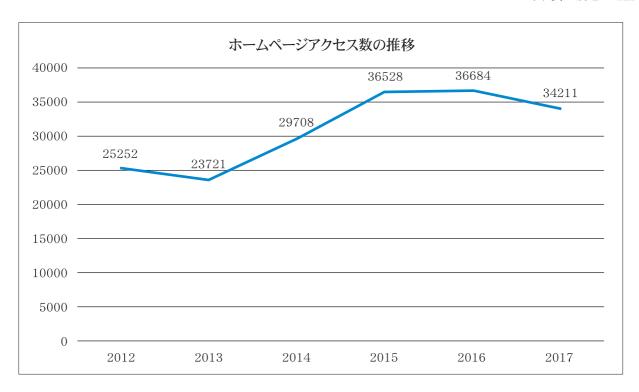
広報誌については、計画通りに年3回発行することができた。魅力ある広報誌とするため、更なる掲載内容の検討を継続していくことが必要であると考える。



年報については、計画的に進め予定通り発行することができた。内容についても精神科救急病棟開設の節目の年度にふさわしい充実した内容を掲載できたと考える。

ホームページ、広報誌、年報という恵生会の広報活動3本柱で、恵生会の取り組み、方向性を広く知っていただけるよう今後も分かりやすく必要な情報の発信を行っていきたい。

文 責 渡辺 達生





情報委員会

委員長:川島博幸・事務局:相澤利彦

【構成員】

4名(看護師2名 事務員2名)

【議事及び活動内容】

月日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎月	定例会議 第 3 月曜日15:30
平成29年 4月	1. 定例会議:17日 (1) 検討事項:①今年度の検討事項について
5月	1. 定例会議:15日 (1) 検討事項:①「個人情報保護規程」「恵生会の情報セキュリティに関するガイドライン」の見 直しについて
6月	1. 定例会議:19日 (1) 報告事項:①改正個人情報保護法への対応として「個人情報保護規程」の点検、見直し、適切 に改訂を行う
7月	未開催
8月	1. 定例会議:21日 (1) 報告事項:①改正個人情報保護法への対応として「個人情報保護規程」の点検、見直し改訂案 を作成。承認後、各部署に配布
9月	1. 定例会議:25日 (1) 報告事項:①改正個人情報保護法への対応として「個人情報保護規程」の点検、見直し新たな ファイルを作成し、各部署に配布
10月	1. 定例会議:16日 (1) 検討事項:①病院立入検査について
11月	1. 定例会議:20日 (1) 報告事項:①各部署に配布してあるUSBメモリの登録
12月	1. 定例会議:18日 (1) 検討事項:提示ポスターの検討
平成30年 1月	1. 定例会議:15日 (1) 検討事項:提示ポスターの検討
2月	未開催
3月	1. 定例会議:19日 (1) 報告事項:①「個人情報保護規程」、「恵生会の情報セキュリティに関するガイドライン」の点 検、見直し、適切に改訂を行う

【評 価】

個人情報保護法の改正に伴う個人情報保護規程の改正を適切に行うことができた。情報漏れ等の大きな問題もなく、うまく行えた1年であった。

文 責 相澤 利彦

接遇向上委員会

事務局:村山礼子

【構成員】

11名(医師1名 看護師5名 精神保健福祉士1名 作業療法士1名 事務員1名 看護補助員2名)

【議事及び活動内容】

月日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎月	定例会議 第3木曜日 リスクマネージャー委員会終了後
平成29年 4月	1. 定例会議:20日 (1) 検討事項:①接遇研修に関して
5月	1. 定例会議:18日 (1) 検討事項:①役職者向けの研修②全スタッフへの研修
6月	1. 定例会議:15日 (1) 検討事項:①役職者向けの接遇研修(8月実施予定)
7月	1. 定例会議:20日 (1) 検討事項:①役職者・接遇向上委員対象の研修(教育委員会と共催)②全スタッフへの研修検 討
8月	1. 定例会議:17日 (1) 検討事項:①役職者・接遇向上委員対象の研修②ご意見箱からの接遇の問題点に関して (2) 研修運営:①8月22日役職者・接遇向上委員対象の研修開催
9月	1. 定例会議:26日 (1) 検討事項:①役職者・接遇向上委員対象の研修内容をスタッフへ伝達②ご意見箱からの接遇の 問題点③全スタッフ対象の院内研修に関して④接遇アンケートに関して
10月	1. 定例会議:19日 (1) 検討事項:①院内研修企画(外部講師依頼)②接遇アンケート11月実施に関して
11月	1. 定例会議:16日 (1) 検討事項:①外部講師による院内研修企画と基本内容検討②接遇アンケート結果の集計と今後 の活用に関して
12月	1. 定例会議:21日 (1) 検討事項:①外部講師による院内研修評価②接遇アンケート集計に基づき各部署でカンファレンス実施について③接遇に関するご意見について (2) 研修運営:①12月5日NTTソルコ&北海道テレマート田辺紀子先生による接遇研修
平成30年 1月	1. 定例会議:18日 (1) 検討事項:①接遇アンケートの集計を配布②各部署でカンファレンスし接遇目標立案③接遇に 関するご意見について
2月	1. 定例会議:15日 (1) 検討事項:①接遇アンケートを元に各部署接遇目標立案 進捗状況に関して
3 月	1.定例会議:15日(1)検討事項:①各部署接遇目標

【評 価】

接遇研修を役職者対象と全スタッフ対象との2回開催。前年度に引き続き接遇アンケートを実施、比較検討し目標を立案した。今後も学びと個人の振り返りを通しながら接遇の向上を追求していく。

文 責 村山 礼子



医療観察法運営委員会

事務局:大澤 孝

【構成員】

7名(医師1名 看護師2名 作業療法士1名 精神保健福祉士1名 臨床心理士1名 事務員1名)

月 日	議事及び活動内容
毎月	定例会議 第4木曜日16:00 ・通院医療対象者の受け入れから処遇終了に至るまでの報告および検討 ・通院医療対象者の個別治療計画の検討と承認 ・個別多職種チームの編成と運営について ・通院医療に関する問題点の検討 ・その他
平成29年 4月	1. 定例会議:27日 (1) 報告事項:①県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ②通院処遇対象者の経過報告 (2) 協議事項:①新規受け入れについて
5月	1. 定例会議:25日 (1) 報告事項:①県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ②通院処遇対象者の経過報告 (2) 協議事項:①新規受け入れについて
6月	1. 定例会議:29日 (1) 報告事項:①県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ②通院処遇対象者の経過報告 (2) 協議事項:①新規受け入れについて
7月	1. 定例会議:27日 (1) 報告事項:①県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ②通院処遇対象者の経過報告 ③ 7月9日付け 対象者1名処遇終了 (2) 協議事項:①新規受け入れについて 2. 活動事項:(1)7月7日 県医療観察法指定通院医療機関実務担当者研修会出席
8月	1. 定例会議:24日 (1) 報告事項:①県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ②通院処遇対象者の経過報告 (2) 協議事項:①新規受け入れについて 2. 活動事項:(1)8月3-4日 司法精神医療等人材養成研修参加
9月	1. 定例会議:28日 (1) 報告事項:①県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ②通院処遇対象者の経過報告 (2) 協議事項:①新規受け入れについて 2. 活動事項:(1) 医療観察法制度モニタリング研究調査(国立精研)協力 (2) 指定通院医療機関アンケート調査(新潟県立看護大)協力
10月	1. 定例会議:26日 (1) 報告事項:①県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ②通院処遇対象者の経過報告 (2) 協議事項:①新規受け入れについて
11月	1. 定例会議:30日 (1) 報告事項:①県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ②通院処遇対象者の経過報告 (2) 協議事項:①新規受け入れについて
12月	1. 定例会議:28日 (1) 報告事項:①県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ②通院処遇対象者の経過報告 (2) 協議事項:①新規受け入れについて

月日	議事及び活動内容
平成30年 1月	1. 定例会議:25日 (1) 報告事項:①県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ②通院処遇対象者の経過報告 (2) 協議事項:①新規受け入れについて
2月	1. 定例会議:26日 (1) 報告事項:①県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ②通院処遇対象者の経過報告 (2) 協議事項:①新規受け入れについて
3月	1. 定例会議:22日 (1) 報告事項:①県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ②通院処遇対象者の経過報告 (2) 協議事項:①新規受け入れについて

平成29年度は対象者の情報共有、うち1名は予定通りに処遇終了。新規依頼者1名についての情報共有、受け入れ検討を密に行ってきた。

次年度も引き続き、指定通院医療機関従事者研修等に職員を派遣し、知識や技術の向上を図りたい。また、チーム運営 や各種評価に関するサポートを行える体制作りを目指したい。

次年度は対象者1名の処遇開始を控えている。引き続き情報共有、検討を密に行っていく。

文 責 大澤 孝



医療安全対策委員会

委員長:川嶋義章・事務局:和気一弘

【構成員】

7名(医師1名 看護師2名 薬剤師1名 作業療法士1名 事務員2名)

月日	議事及び活動内容
毎月	定例会議 第3木曜日 16:00 インシデント・アクシデントレポートに関する報告・検証、システム改善・評価
平成29年 4月	 定例会議:20日 (1) 報告事項:①リスクマネージャー委員会からの報告 ②医療安全リスク院内研修不参加者レポート提出を義務化 (2) 検討事項:①施錠確認強化運動について ②病棟内の与薬業務について ③防災・避難訓練について ④ゴミステーションの施錠について
5 月	1. 定例会議:18日 (1) 報告事項:①リスクマネージャー委員会からの報告 ②4F病棟に与薬カート導入する方針 (2) 検討事項:①施錠確認強化運動について ②防災・避難訓練について反省・評価 ③6/15・16院内研修内容について ④職員通用口の電気錠設置について検討(現 状維持)
6月	1. 定例会議:15日 (1) 報告事項:①リスクマネージャー委員会からの報告 (2) 検討事項:①施錠確認強化運動について経過報告、評価 ②義務研修レポート管理について ③4F病棟与薬カート導入、進捗状況
7月	1. 定例会議:20日 (1) 報告事項:①リスクマネージャー委員会からの報告 (2) 検討事項:①意見箱の回収および集計作業について ②義務研修レポート閲覧ファイルについて ③救助袋降下訓練実施について
8月	1. 定例会議:17日 (1) 報告事項:①リスクマネージャー委員会からの報告 ②3F、4Fでの薬剤エラーが減少、継続して対策実施 (2) 検討事項:①意見箱回収および集計作業について ②離床センサー追加導入について、医療安全マニュアル見直し更新
9月	1. 定例会議:26日 (1) 報告事項:①リスクマネージャー委員会からの報告、薬剤に関するエラー多数 ②薬剤の強化 月間実施を依頼 (2) 検討事項:①意見箱回収、集計作業について協議 ②離床センサー追加導入について再検討 救助袋降下訓練実施、火災避難訓練について
10月	1. 定例会議:19日 (1) 報告事項:①リスクマネージャー委員会からの報告 (2) 検討事項:①意見箱回収、集計作業について継続審議 ②離床センサーデモ機 精神科救急病 棟で試行 ③休日・夜間緊急連絡システム「らくらく連絡網」一元化導入へ

月日	議事及び活動内容
11月	1. 定例会議:16日 (1) 報告事項:①リスクマネージャー委員会からの報告、薬剤強化運動継続 ②離床センサーデモ 機 精神科救急病棟評価 ③浄化槽に大量マスク詰まり、各部署注意喚起 (2) 検討事項:①意見箱回収、集計作業について継続審議 ②休日・夜間緊急連絡システム一元化 導入に向け検討
12月	1. 定例会議:21日 (1) 報告事項:①リスクマネージャー委員会からの報告 ②薬剤に関する強化月間終了、評価 (2) 検討事項:①意見箱回収、集計作業の新たなシステムは新年度から実施 ②離床センサー導入 について継続審議 ③「らくらく連絡網」休日・夜間緊急連絡訓練実施を協 ④全死亡事例の検討会について検討
平成30年 1月	1. 定例会議:18日 (1) 報告事項:①リスクマネージャー委員会からの報告 ②離床センサーデモ評価よく導入予定 (2) 検討事項:①「らくらく連絡網」休日・夜間緊急連絡訓練実施に向け調整
2月	1. 定例会議:16日 (1) 報告事項:①リスクマネージャー委員会からの報告、持参薬のエラー是正 ②緊急連絡訓練実施し評価(年1回実施) (2) 検討事項:①平成30年度防災訓練計画の承認
3月	1. 定例会議:15日 (1) 報告事項:①リスクマネージャー委員会からの報告 (2) 検討事項:①らくらく連絡網に関して発信作業の検討 ②鍵・カードキーの管理、施錠確認の 徹底、4月に強化月間実施

• 医療安全義務研修

「CVPPPの講習と実技」「インシデント・アクシデント傾向分析と対策について」をEvening Studies形式で各 2 回 実施した。研修不参加者対象にレポート提出を実施し、参加率が向上した。

• リスク • 医療安全ラウンドの実施

週に1回のペースで事例発生該当部署を多職種でラウンド実施、インシデント・アクシデントレポートの振り返りや指導、実施検証を行った。現実可能な対策、再発防止に最善の対策を推進してきた。

• 薬剤に関する事故防止

薬剤に関するエラーが減少せず、薬剤に関する事故防止強化月間を設けて取組みを実施。 確認ミスによるヒューマンエラーの防止、複数確認や呼称確認の実施を推奨している。

・施錠確認、鍵管理の意識向上への取り組み

施錠確認の徹底やカードキー、マスターキーの管理意識向上を目的に強化月間を設け、取り組んできた。施錠確認および鍵の管理意識向上への働きかけは常日頃行うことが重要。

・休日、夜間緊急連絡システム構築

らくらく連絡網メーリングソフトを活用した緊急連絡体制を整備、休日・夜間緊急連絡システムを一元化することで確 実な情報共有、緊急時対応が期待される。らくらく連絡網ソフトについては、ほとんどの職員が登録を行った。一部登 録していない職員については引き続き登録を働きかけていく。

文 責 和気 一弘



リスクマネージャー委員会

委員長:川嶋義章 事務局:村山礼子

【構成員】

20名(医師 1 名 看護師 7 名 薬剤師 1 名 診療放射線技師 1 名 臨床検査技師 1 名 作業療法士 3 名 臨床心理士 1 名 管理栄養士 1 名 事務員 3 名 施設管理員 1 名)

月日	議事及び活動内容
毎月	定例会議 毎月第3木曜 15:00 前月分のインシデント・アクシデント報告及びラウンドの報告 システムの変更及び各部署からの検討事項等
平成29年 4月	 定例会議:20日 報告事項:①3月分レポート報告(60件)、ラウンド報告 ②消防・地震避難訓練報告 検討事項:①薬剤インシデント・アクシデントラウンドに関して ②施錠確認強化月間に関して ③ゴミステーションの施錠に関して
5月	1. 定例会議:18日 (1) 報告事項:4月分レポート報告(64件)、ラウンド報告 (2) 検討事項:①消防・地震避難訓練に関して ②施錠確認強化月間の評価に関して ③与薬カート導入に関して
6月	1. 定例会議: 15日 (1) 報告事項: ① 5 月分レポート報告(58件)、ラウンド報告 (2) 検討事項: ①薬剤におけるインシデント・アクシデン報告に関して ②施錠確認強化月間の評価に関して ③与薬カート導入に関して
7月	定例会議:20日 (1) 報告事項:①6月分レポート報告(53件)、ラウンド報告 ②救助袋訓練報告 (2) 検討事項:①5月に発生した無断離院について ②4F病棟の与薬カートについて ③医療安全・リスクマネージャー委員会義務研修について ④ご意見箱の回収について
8月	定例会議:17日 (1) 報告事項:①7月分レポート報告(49件)、ラウンド報告 (2) 検討事項:①ご意見箱に関して ②医療安全マニュアル見直しに関して ③警報に関して
9月	定例会議:26日 (1) 報告事項:①8月分レポート報告(55件)、ラウンド報告 (2) 検討事項:①火災避難訓練及び消防設備取扱いに関して ②貯水槽清掃に関して ③トイレへの破棄物に関して ④薬剤インシデントに関して

月日	議事及び活動内容
10月	定例会議:19日 (1) 報告事項:①9月分レポート報告(47件)、ラウンド報告 ②各病棟における薬剤インシデント対策 ③保健所監査報告 (2) 検討事項:①ご意見箱に関して ②離床センサーに関して
11月	定例会議:16日 (1) 報告事項:①10月分レポート報告(59件)、ラウンド報告 ②火災避難訓練の報告 (2) 検討事項:①浄化槽に関して ②らくらく連絡網に関して ③薬剤意識向上エラー0対策に関して
12月	定例会議:21日 (1) 報告事項:①11月分レポート報告(34件)、ラウンド報告 ②薬剤意識向上エラー 0 対策評価 (2) 検討事項:①院内リスクラウンドの報告書に関して ②緊急連絡網訓練に関して ③敷地内での喫煙に関して
平成30年 1月	定例会議:18日 (1) 報告事項:①12月分レポート報告(49件)、ラウンド報告 (2) 検討事項:①緊急時連絡網に関して ②離床センサーに関して ③全死亡事例評価に関して ④転倒による家族連絡に関して
2月	定例会議:15日 (1) 報告事項:①1月分レポート報告(67件)、ラウンド報告 ②夜間緊急連絡訓練結果 (2) 検討事項:①精神科救急病棟における重大事故に関して
3月	定例会議:15日 (1) 報告事項:①2月分レポート報告(40件)、ラウンド報告 ②平成30年度防災訓練計画書配布 ③夜間・休日緊急連絡訓練結果報告 (2) 検討事項:①マスターキー、カードキーの管理徹底に関して ②施錠確認強化運動実施に関して

医療安全対策委員会と共催し「インシデント・アクシデント傾向分析と対策について」Evening Studiesを開催した。インシデント・アクシデント報告に基づき週に1回の院内ラウンドを実施し、当該部署の対策を再評価した。薬剤に関するエラーが多く「薬剤意識向上エラー 0 対策」を実施し、対策を立案し実行した。今後もリスクをマネジメントしながら安全を確保し、医療の質を高めていくよう活動していく。

文 責 村山 礼子



行動制限最小化委員会

委員長:橋野健一・事務局:川島正人

【構成員】

8名(医師1名 看護師6名 精神保健福祉士1名)

月 日	議事及び活動内容
毎 月	定例会議 第4火曜日 15:00
平成29年 4月	1. 定例会議 25日 (1) 報告事項:①隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始時マニュアル等運用状況について (2) 検討事項:①Evening Studies企画(1回目) ②隔離継続指示の評価入力について
5月	1. 定例会議 23日 (1) 報告事項:①隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始時マニュアル等運用状況について (2) 検討事項:①一覧性台帳の記載方法周知について
6月	1. 定例会議 27日 (1) 報告事項:①隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始時マニュアル等運用状況について (2) 検討事項:①身体拘束具の管理方法について
7月	1. 定例会議 25日 (1) 報告事項:①隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始時マニュアル等運用状況について (2) 検討事項:①身体拘束開始時の留意点について ②身体拘束具の管理方法について
8月	1. 定例会議 24日 (1) 報告事項:①隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始時マニュアル等運用状況について (2) 検討事項:①身体拘束具の管理方法について ②新人6ヶ月研修企画
9月	1. 定例会議 26日 (1) 報告事項:①隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始時マニュアル等運用状況について (2) 検討事項:①身体拘束具の管理方法について ②隔離室への持ち込み品について
10月	1. 定例会議 24日 (1) 報告事項:①隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始時マニュアル等運用状況について (2) 検討事項:①実地審査について
11月	1. 定例会議 27日 (1) 報告事項:①隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始時マニュアル等運用状況について (2) 検討事項:①体拘束開始時マニュアル改訂について ②実地審査指摘事項について ③Evening Studies企画(2回目)
12月	1. 定例会議 26日 (1) 報告事項:①隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始時マニュアル等運用状況について (2) 検討事項:①看護責任者報告票の改正について
平成30年 1月	1. 定例会議 延期 (1) 報告事項:①隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始時マニュアル等運用状況について 情報共有

月日	議 事 及 び 活 動 内 容
2 月	1. 定例会議 27日 (1) 報告事項:①隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始時マニュアル等運用状況について (2) 検討事項:①行動制限に関わる各病棟業務マニュアルの改正について
3月	1. 定例会議 27日 (1) 報告事項:①隔離・身体拘束レポート、身体拘束開始時マニュアル等運用状況について (2) 検討事項:①身体拘束早期解除に向けたカンファレンスの方法見直しについて

• Evening Studies 年間2回開催

平成29年度は身体拘束によるリスクの評価や予防について検討し、マニュアルの変更および電子カルテへの反映を行ってきた。また、隔離や拘束が漫然と継続されないよう方法を協議してきた。

今後も適切な医療を提供していく上で、行動制限最小化への取り組みを継続していく。

文 責 川島 正人



院内感染防止対策委員会

事務局:柴田実子

【構成員】

8名(医師2名 看護師3名 薬剤師1名 臨床検査技師1名 事務員1名)

月 日	議事及び活動内容
毎月	定例会議 第 2 木曜日 16:00~
平成29年 4月	1. 定例会議:13日 (1) 報告事項:①院内感染報告 ②抗生剤適正使用報告 ③食中毒発生状況報告 ④院外感染症情報 ⑤ICT報告 (2) 協議事項:①感染症発生報告書
5 月	1. 定例会議:11日 (1) 報告事項:①院内感染報告 ②抗生剤適正使用報告 ③食中毒発生状況報告 ④院外感染症情報 ⑤ICT報告 (2) 協議事項:①職員の麻疹ワクチン未実施者と抗体未確認者の確認
6月	1. 定例会議:8日 (1) 報告事項:①院内感染報告 ②抗生剤適正使用報告 ③食中毒発生状況報告 ④院外感染症情報 ⑤ICT報告 (2) 協議事項:①Evening studiesの検討 ②感染マニュアルの確認
7月	1. 定例会議:13日 (1) 報告事項:①院内感染報告 ②抗生剤適正使用報告 ③食中毒発生状況報告 ④院外感染症情報 ⑤ICT報告 (2) 協議事項:①手指消毒液について
8月	1. 定例会議:10日 (1) 報告事項:①院内感染報告 ②抗生剤適正使用報告 ③食中毒発生状況報告 ④院外感染症情報 ⑤ICT報告 (2) 協議事項:①感染マニュアルの追加項目について
9月	1. 定例会議:14日 (1) 報告事項:①院内感染報告 ②抗生剤適正使用報告 ③食中毒発生状況報告 ④院外感染症情報⑤ICT報告 (2) 協議事項:①肺炎球菌とインフルエンザワクチン接種について
10月	1. 定例会議:12日 (1) 報告事項:①院内感染報告 ②抗生剤適正使用報告 ③食中毒発生状況報告 ④院外感染症情報 ⑤ICT報告 (2) 協議事項:①Evening studiesの検討インフルエンザワクチン接種について (保健所の助言事項)
11月	1. 定例会議:9日 (1) 報告事項:①院内感染報告 ②抗生剤適正使用報告 ③食中毒発生状況報告 ④院外感染症情報 ⑤ICT報告 (2) 協議事項:①除菌ペーパーについて
12月	1. 定例会議:14日 (1) 報告事項:①院内感染報告 ②抗生剤適正使用報告 ③食中毒発生状況報告 ④院外感染症情報 ⑤ICT報告 (2) 協議事項:①フェーズ別感染対策 ②滅菌物の有効期限

月日	議 事 及 び 活 動 内 容
平成30年 1月	1. 定例会議:12日 (1) 報告事項:①院内感染報告 ②抗生剤適正使用報告 ③食中毒発生状況報告 ④院外感染症情報⑤ICT報告 (2) 協議事項:①フェーズ別感染対策
1月	1. 臨時会議29日(10:00~10:30) (1) 院内感染状況の把握と対策
2月	1. 定例会議:21日 (1) 報告事項:①院内感染報告 ②抗生剤適正使用報告 ③食中毒発生状況報告 ④院外感染症情報⑤ICT報告 (2) 協議事項:①感染症発生時のICT感染症発生時の輪番体制
3 月	1. 定例会議:8日 (1) 報告事項:①院内感染報告 ②抗生剤適正使用報告 ③食中毒発生状況報告 ④院外感染症情報 ⑤ICT報告 (2) 協議事項:①カーディガンの着用

今年度よりベストプラクティスとインフルエンザフェーズ別感染対策を導入した。職員教育の見直しによる強化と感染症発生時の院内報告体制の見直しを行い、迅速なラウンドと適切な指示を出せるようにした。 4 階病棟での感染性胃腸炎 (疑い含む) 29名のアウトブレイクがあり $1/24\sim2/7$ 収束した。職員の持ち込み警戒態勢が出来ていなかったこと、手指衛生、嘔吐物の処理の教育不足があったことが課題として残った。

来年度も継続して標準予防策の徹底と強化を行うこと、院内での感染状況の把握、迅速かつ適切な対策を行っていくこと、又、フェーズ対策の見直しと、新たにノロフェーズ別感染対策導入の準備をしていく。

文 責 柴田 実子



ICT委員会

委員長:鈴木好文•事務局:佐野有華

【構成員】

10名(医師1名 看護師6名 薬剤師1名 臨床検査技師1名 事務員1名)

月日	議事及び活動内容
毎 月	第2金曜日に各部署ラウンド及び定例会議
平成29年 4月	1. 定例会議:14日 (1) 報告事項:①各部署ラウンド (2) 検討事項:①ノロマニュアル・感染報告書の一部改訂について検討
5月	1. 定例会議:12日 (1) 報告事項:①各部署ラウンド ②ノロマニュアル・感染症発生報告書改訂 (2) 検討事項:①7月のEvening Studiesの内容について検討
6月	 定例会議:9日 報告事項:①各部署ラウンド 検討事項:①袖付ディスポエプロン・ジェルタイプ手指消毒液の導入について検討②7月のEvening Studiesの内容について検討
7月	1. 定例会議:14日 (1) 報告事項:①各部署ラウンド ②肺炎球菌ワクチン・インフルエンザ予防接種に関する 流れを確認 ③連携施設間カンファレンスの報告 ④12、13日 Evening Studies「オムツ交換ベストプラクティス」報告 (2) 検討事項:①感染管理ベストプラクティス進行状況の確認 2. 連携施設間カンファレンス(場所 木戸病院):13日 (1) テーマ『ICTラウンドによる改善等の実践報告』
8月	 定例会議:15日 報告事項:①各部署ラウンド 検討事項:①感染対策マニュアル見直し開始 ②肺炎球菌ワクチン・インフルエンザ予防接種について
9月	1. 定例会議:14日 (1) 報告事項:①各部署ラウンド ②感染管理ベストプラクティスの実践報告 (2) 検討事項:①11月のEvening Studiesの内容について検討
10月	 定例会議:13日 報告事項:①各部署ラウンド ②保健所立ち入り監査報告 ③連携施設間カンファレンスの報告 検討事項:①11月のEvening Studiesについて確認
11月	1. 定例会議:10日 (1) 報告事項:①各部署ラウンド ② 8、9 日 Evening Studies「インフルエンザフェーズ別感染対策」報告 (2) 検討事項:①新潟市からの感染症対策対応の徹底について ②消毒薬剤(手指・環境)の導入について検討 2. 平成29年度結核・感染症研修会(場所 新潟テルサ):14日 (1) テーマ:『結核について』・『新潟市の感染症の現状』・『結核の現状と介護施設等での感染対策』

月日	議事及び活動内容
12月	1. 定例会議:14日 (1) 報告事項:①各部署ラウンド (2) 検討事項:①インフルエンザワクチン実施状況と問題点の確認 ②職員カーディガン着用についての検討 2. 連携施設間カンファレンス(場所 木戸病院):1日 (1) テーマ『 TDM(薬物治療モニタリング)について』・『血液培養の手技について』 3. 感染管理懇話会学術集会:9日 (1) 『インフルエンザ対策について』
平成30年 1月	1. 定例会議:12日 (1) 報告事項:①各部署ラウンド (2) 検討事項:①インフルエンザ(ワクチン,環境整備,フェーズ別対策)について確認 ②院内感染対策推進方策の教育的介入について立案 ③携帯用手指消毒薬の再検討
2月	1. 定例会議:23日 (1) 報告事項:①各部署ラウンド (2) 検討事項:①インフルエンザ及び感染性胃腸炎(ノロ含)のアウトブレイクの検証及び 対策立案
3月	1. 定例会議: 9日 (1) 報告事項:①各部署ラウンド (2) 検討事項:①インフルエンザマニュアル、フェーズ対策について検証及び見直し ②血管内カテーテル関連感染防止策について 2. 連携施設間カンファレンス(場所 木戸病院): 2日 (1) テーマ:『各施設の「薬剤耐性菌検出・抗菌薬使用・手指消毒薬使用」についての現状報告』

今年度よりインフルエンザフェーズ別対策の運用とICTメンバーの輪番制度を開始した。多少の課題は残したものの概ね良好に運用できたと考える。しかしインフルエンザの発生と感染性胃腸炎(ノロウィルス感染含む)のアウトブレイクが起きてしまった為、今回の発生事例を検証した上でノロフェーズ対策を策定し、院内感染の発生防止に努める。また院外活動についても連携施設カンファレンスや研修などにも積極的に参加し、感染対策に必要な知識の向上と多医療機関との連携を深めていくよう取り組んでいく。

文 責 佐野 有華



褥瘡対策委員会

委員長:鈴木好文·事務局:佐藤敦子

【構成員】

11名(医師1名 看護師6名 薬剤師1名 管理栄養士1名 精神保健福祉士1名 作業療法士1名)

「一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一	
月日	議事及び活動内容
毎月	定例回診 第 2 火曜日14:00 定例会議 第 2 木曜日15:00
平成29年 4月	1. 定例回診:11日 対象者 7 名 2. 定例会議:13日 (1) 報告事項:①入院患者褥瘡発生者データ 褥瘡発生者 4 名、転帰者 1 名 (2) 検討事項:①症例検討 6 名
5 月	1. 定例回診:9日 対象者7名 2. 定例会議:11日 (1) 報告事項:①入院患者褥瘡発生者データ 褥瘡発生者4名、転帰者1名 (2) 検討事項:①症例検討6名
6月	1. 定例回診:6日 対象者6名 2. 定例会議:8日 (1) 報告事項:①入院患者褥瘡発生者データ 褥瘡発生者4名、転帰者4名 (2) 検討事項:①症例検討5名
7月	1. 定例回診:10日 対象者 7 名 2. 定例会議:12日 (1) 報告事項:①入院患者褥瘡発生者データ 褥瘡発生者 4 名、転帰者 3 名 (2) 検討事項:①症例検討 6 名
8月	 定例回診:8日 対象者6名 定例会議:10日 (1) 報告事項:①入院患者褥瘡発生者データ 褥瘡発生者3名、転帰者3名 ②褥瘡委員会用のカメラ購入 (2) 検討事項:①症例検討4名
9月	1. 例回診:12日 対象者2名 2. 定例会議:14日 (1) 報告事項:①入院患者褥瘡発生者データ:褥瘡発生者2名、転帰者5名 ②栄養スクリーニング(6か月毎)の発信を栄養科に変更 (2) 検討事項:①症例検討:2名
10月	1. 定例回診:10日 対象者2名 2. 定例会議:12日 (1) 報告事項:①入院患者褥瘡発生者データ 褥瘡発生者0名、転帰者0名 ②6・7日、第14回日本褥瘡学会関東甲信越地方会学術集会に医師1名、看護師2名参加(教育セミナー受講、一般演題発表『精神科病院における褥瘡患者、特に重症例の要因と評価』) (2) 検討事項:①症例検討2名
11月	1. 定例回診:7日 対象者4名 2. 定例会議:9日 (1) 報告事項:①入院患者褥瘡発生者データ 褥瘡発生者6名、転帰者4名 (2) 検討事項:①症例検討4名

月日	議 事 及 び 活 動 内 容
12月	1. 定例回診:12日 対象者 4名 2. 定例会議:14日 (1) 報告事項:①入院患者褥瘡発生者データ 褥瘡発生者 1名、転帰者 2名 (2) 検討事項:①症例検討:3名
平成30年 1月	1. 定例回診:9日 対象者6名 2. 定例会議:11日 (1) 報告事項:①入院患者褥瘡発生者データ 褥瘡発生者3名、転帰者1名 (2) 検討事項:①症例検討:5名
2月	 定例回診:17日 対象者3名 定例会議:19日 (1) 報告事項:①入院患者褥瘡発生者データ 褥瘡発生者1名、転帰者3名 (2) 検討事項:①症例検討:3名
3 月	1. 定例回診: 6日 対象者名 7名 2. 定例会議: 8日 (1) 報告事項:①入院患者褥瘡発生者データ 褥瘡発生者 5名、転帰者 4名 ② 7・8日 Evening studies 164名参加『精神科病院における褥瘡患者、 特に重症例の要因と評価』 (2) 検討事項:①症例検討 5名

褥瘡統計:月內発生者平均 2.9名

褥瘡患者平均(発生者含む) 4.0名治癒者平均 2.6名

Evening studies: 1回実施

文 責 佐藤 敦子



NST委員会

委員長:鈴木好文·事務局:小嶋 萌

【構成員】

5名(医師1名 看護師1名 薬剤師1名 作業療法士1名 管理栄養士1名)

月日	議事及び活動内容
隔月	定例会議 第 2 木曜日褥瘡対策委員会終了後 N S T対象患者のケア計画の立案・実施・評価
平成29年 4月	1. 定例会議:13日 (1) 報告事項:①3月期低体重・低Alb値・肥満患者報告 ②半年(9月から3月期)5kg以上減少者報告 ③体重減少者フォロー状況報告 ④平成28年度集計報告 (2) 協議事項:①新規NSTアプローチ患者確認 ②体重減少者の改善策確認 2. 活動事項:(1) NST検討2名
5 月	1. 定例会議:11日 (1) 報告事項:①4月期低体重・低Alb値・肥満患者報告 ②半年(10月から4月期)5kg以上減少者報告 ③体重減少者フォロー状況報告 (2) 協議事項:①新規NSTアプローチ患者確認 ②体重減少者の改善策確認 2. 活動事項:(1) NST検討1名
6 月	1. 定例会議:8日 (1) 報告事項:①5月期低体重・低Alb値・肥満患者報告 ②半年(11月から5月期)5kg以上減少者報告 ③体重減少者フォロー状況報告 (2) 協議事項:①新規NSTアプローチ患者確認 ②体重減少者の改善策確認 2. 活動事項:(1) NST検討2名
7月	会議:13日 (1) 報告事項:①6月期低体重・低Alb値・肥満患者報告 ②半年(12月から6月期)5 kg以上減少者報告 ③体重減少者フォロー状況報告 (2) 協議事項:①新規NSTアプローチ患者確認 ②体重減少者の改善策確認 2. 活動事項:(1) NST検討0名
8月	1. 定例会議:10日 (1) 報告事項:①7月期低体重・低Alb値・肥満患者報告 ②半年(1月から7月期)5kg以上減少者報告 ③体重減少者フォロー状況報告 (2) 協議事項:①新規NSTアプローチ患者確認 ②体重減少者の改善策確認 2. 活動事項:(1) NST検討0名
9月	1. 定例会議:14日 (1) 報告事項:①8月期低体重・低Alb値・肥満患者報告 ②半年(2月から8月期)5kg以上減少者報告 ③体重減少者フォロー状況報告 (2) 協議事項:①新規NSTアプローチ患者確認 ②体重減少者の改善策確認 2. 活動事項:(1) NST検討0名

月日	議事及び活動内容
10月	1. 定例会議:12日 (1) 報告事項:①9月期低体重・低Alb値・肥満患者報告 ②半年(3月から9月期)5kg以上減少者報告 ③体重減少者フォロー状況報告 (2) 協議事項:①新規NSTアプローチ患者確認 ②体重減少者の改善策確認 2. 活動事項:(1) NST検討0名
11月	1. 定例会議:9日 (1) 報告事項:①10月期低体重・低Alb値・肥満患者報告 ②半年(4月から10月期)5kg以上減少者報告 ③体重減少・肥満者フォロー状況報告 (2) 協議事項:①新規NSTアプローチ患者確認 ②体重減少・肥満者の改善策確認 2. 活動事項:(1) NST検討0名
12月	1. 定例会議:14日 (1) 報告事項:①11月期低体重・低Alb値・肥満患者報告 ②半年(5月から11月期)5kg以上減少者報告 ③体重減少・肥満者フォロー状況報告 (2) 協議事項:①新規NSTアプローチ患者確認 ②体重減少・肥満者の改善策確認 2. 活動事項:(1) NST検討1名
平成30年	1. 定例会議:11日 (1) 報告事項:①12月期低体重・低Alb値・肥満患者報告 ②半年(6月から12月期)5kg以上減少者報告 ③体重減少・肥満者フォロー状況報告 (2) 協議事項:①新規NSTアプローチ患者確認 ②体重減少・肥満者の改善策確認 2. 活動事項:(1) NST検討0名
2月	1. 定例会議:19日 (1) 報告事項:①1月期低体重・低Alb値・肥満患者報告 ②半年(7月から1月期)5kg以上減少者報告 ③体重減少・肥満者フォロー状況報告 (2) 協議事項:①新規NSTアプローチ患者確認 ②体重減少・肥満者の改善策確認 2. 活動事項:(1) NST検討0名
3月	1. 定例会議:8日 (1) 報告事項:①2月期低体重・低Alb値・肥満患者報告 ②半年(8月から2月期)5kg以上減少者報告 ③体重減少・肥満者フォロー状況報告 (2) 協議事項:①新規NSTアプローチ患者確認 ②体重減少肥満者の改善策確認 2. 活動事項:(1) NST検討0名

- 低体重者 平均48.1名
- 低Alb值者 平均7.9名
- 肥満者 平均44.2名
- ・半年で5kg以上体重減少者 平均21.2名

半年で 5 kg以上体重減少者の平均値は前年度より4.5名減少し、低栄養患者の早期発見・早期介入ができた。月間集計では12月以降、肥満者が低体重者の数を上回った。今後も低栄養だけでなく肥満の栄養管理に努めたい。

文 責 小嶋 萌



薬事委員会

委員長:鈴木好文•事務局:川島伴子

【構成員】

6名(医師3名 薬剤師1名 事務員2名)

【議事及び活動内容】

月 日	議事及び活動内容
毎月	定例会議 奇数月第1月曜日 16:00 薬物治療・薬剤業務の適正化、医薬品の無秩序な購入の防止
平成29年 5 月	1. 定例会議: 1日 (1) 協議事項:①今年度より委員会のメンバー構成が一新されたことから今後の運営について検討 (2) 報告事項:①入院時の持参薬についての院内継続ルールを報告 ②保険調剤薬局より後発薬の効能が一致しない薬剤について院外処方箋への記入事項について確認 ③院内後発薬への積極的な取り組みを確認
7月	1. 定例会議: 3日 (1) 協議事項:①購入薬・削除薬・廃棄薬・新規採用薬の検討 ②疾患別使用薬の割合 ③院内採用薬の後発薬の割合について (2) 報告事項:①4薬剤の後発薬への変更 ②重大な副作用対応としてスタッフへの情報提供 ③院内において複数の同効薬を精査した結果を報告
9月	1. 定例会議: 4日 (1) 協議事項: ①購入薬・削除薬・廃棄薬・新規採用薬の検討 ②疾患別使用薬の割合 ③院内採用薬の後発薬の割合について検討 (2) 報告事項: ①名称変更された2薬剤についての情報共有 ②院外処方の用法記載について不備がないように統一された記載を依頼
11月	1. 定例会議: 6日 (1) 協議事項:①購入薬・削除薬・廃棄薬・新規採用薬の検討 ②疾患別使用薬の割合 ③院内採用薬の後発薬の割合について (2) 報告事項:①名称変更された1薬剤についての情報共有
平成30年 1月	1. 定例会議: 15日 (1) 協議事項: ①購入薬・削除薬・廃棄薬・新規採用薬の検討 ②疾患別購入薬の割合 ③院内採用薬の後発薬の割合について (2) 報告事項: ①名称変更された1薬剤についての情報共有 ②「特定抗菌薬使用届出」用紙の運営について手順書の確認
3月	1. 定例会議: 5日 (1) 協議事項:①購入薬・削除薬・廃棄薬・新規採用薬の検討 ②疾患別購入薬の割合 ③院内採用薬の後発薬の割合について (2) 報告事項:①名称変更された1薬剤についての情報共有 ②次回の薬審で救急カート内の薬剤の見直しを検討

【評 価】

平成29年度も精神科救急病棟の稼働に伴い、持参薬、他科受診薬、市販薬などの管理や医師への情報提供など薬剤の適 正使用に関する業務が多かった。

後発薬の採用には積極的に取り組み、割合も徐々ではあるが上がってきているが、持参薬の継続のための新規購入や、 それに伴う不動在庫は今後の課題となってきている。

文 責 川島 伴子



病院食検討委員会

事務局:小嶋 萌

【構成員】

9名(医師2名 看護師3名 管理栄養士2名 委託会社職員2名)

【議事及び活動内容】

月 日	議事及び活動内容
隔月	定例会議 偶数月 第2水曜日 16:00 ・イベント・行事食の実施・評価 ・検食簿集計報告 ・病棟・給食・栄養科からの意見・要望の検討
平成29年 4月	定例会議:12日 (1) 報告事項:①実施済みイベント・行事食について ②検食簿集計報告 (2) 協議事項:①病棟・給食・栄養科からの意見・要望の検討 ②平成29年度給食委員について ③下膳時間について
6月	定例会議:14日 (1) 報告事項:①実施済みイベント・行事食について ②検食簿集計報告 ③平成28年度栄養充足率報告 (1) 協議事項:①病棟・給食・栄養科からの意見・要望の検討 ②使い捨て食器について ③冷たいお茶の提供について ④病院栄養士の業務見直しについて
8月	定例会議:9日 (1) 報告事項:①実施済みイベント・行事食について ②検食簿集計報告 (2) 協議事項:①病棟・給食・栄養科からの意見・要望の検討 ②デイケアの配膳について
10月	定例会議:11日 (1) 報告事項:①実施済みイベント・行事食について ②検食簿集計報告 (2) 協議事項:①病棟・給食・栄養科からの意見・要望の検討 ②イベント食について ③温かいお茶について
12月	定例会議:13日 (1) 報告事項:①実施済みイベント・行事食について ②検食簿集計報告 (2) 協議事項:①病棟・給食・栄養科からの意見・要望の検討 ②平成29年度嗜好調査について
平成30年 2月	定例会議:14日 (1) 報告事項:①実施済みイベント・行事食について ②検食簿集計報告 ③平成29年度嗜好調査結果報告 (2) 協議事項:①病棟・給食・栄養科からの意見・要望の検討 ②平成30年度イベント・行事食について

【評 価】

- ・イベント・行事食:月2回以上実施
- ・ビュッフェ・選択メニュー:各病棟、デイケアにて年間12回実施
- ・地産地消メニュー:年間4回実施
- ・入院患者、デイケア利用者を対象に嗜好調査アンケート実施 回収率53.3%

各部署から給食委員を1名以上設けたことで、イベント・行事食のリスク把握を共有できている。今後も他部署と協力 し、安全な食事提供に努めたい。

文 責 小嶋 萌



衛生委員会

事務局:村木憲一

【構成員】

5名(医師2名 看護師1名 臨床検査技師1名 臨床心理士1名)

【議事及び活動内容】

月日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎月	定例会議 第 2 木曜日 16:00 職員の労働安全衛生に関する活動について立案及び調査審議を行う
平成29年 4月	1. 定例会議:13日 (1) 報告事項:①平成29年度春季健康診断について ②職員レントゲン撮影について
5月	1. 定例会議:11日 (1) 報告事項:①平成29年度春季健康診断について
6月	 定例会議:9日 報告事項:①平成29年度春季健康診断について
7月	1. 定例会議:14日 (1) 報告事項:①健康診断保健指導について ②メンタルヘルスについて
8月	1. 定例会議:10日 (1) 報告事項:①健康診断保健指導について ②メンタルヘルスについて
9月	 定例会議:14日 報告事項:①平成29年度秋季健康診断について
10月	1. 定例会議:12日 (1) 報告事項:①平成29年度秋季健康診断について ②メンタルヘルスチェックについて
11月	1. 定例会議:12日 (1) 報告事項:①平成29年度秋季健康診断について ②メンタルヘルスチェックについて
12月	 定例会議:9日 報告事項:①平成29年度秋季健康診断について
平成30年 1月	 定例会議:11日 報告事項:①健康診断保健指導について 協議事項:①今年度健康診断の課題と次年度について
2月	1. 定例会議:21日 (1) 協議事項:①今年度健康診断の課題と次年度について
3月	1. 定例会議: 8日 (1) 協議事項:①H30年春季健康診断について ②職員の胸部X線撮影について

【評 価】

- ・春、秋年2回の職員健診を実施
- ・メンタルヘルスチェックのWEB回答を導入
- ・労働安全衛生に関する活動について立案及び各項目の行動順守を推進
- ・労働災害の把握並びに予防策の検討を実施

今年度はメンタルヘルスチェックのWEB回答を導入し、よりスムーズな運用が行えるようになった。次年度は今年度の課題を改善し、よりスムーズな健診の実施と、心身の健康維持増進の為の啓蒙・教育を実践していく。

文 責 村木 憲一

退院支援委員会

事務局:布川征一郎

【構成員】

10名(医師1名 看護師4名 作業療法士2名 精神保健福祉士2名 臨床心理士1名)

月日	議事及び活動内容
毎月	定例会議 第4水曜日 15:00 ・各部門における受け入れ状況の報告(デイケア科・福祉事業所・地域課・作業療法科) ・各病棟における退院支援進捗状況の報告(3階病棟・4階病棟・5階病棟) ・長期入院者への退院支援に関する協議および検討 ・各種評価および研修参加等の取りまとめ ・地域機関との連絡会(新潟地域振興局圏域)開催にあたる各種業務
平成29年 4月	1. 定例会議:25日 (1) 報告事項:各部署からの最新情報、退院支援対象者のメンバー選定
5 月	1. 定例会議:24日 (1) 報告事項:各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況
6 月	1. 定例会議:28日 (1) 報告事項:各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況
7月	1. 定例会議:25日 (1) 報告事項:各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況
8月	1. 定例会議:23日 (1) 報告事項:各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況 2. リカバリー全国フォーラム2017(委員3名参加):25~26日 3. 地域生活準備プログラム8月23日より開始(計5回)
9月	1. 定例会議:27日 (1) 報告事項:各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況
10月	1. 定例会議:25日 (1) 報告事項:各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況 2. 二市一町連絡会議(当院):24日
11月	1. 定例会議:22日 (1) 報告事項:各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況
12月	1. 定例会議:27日 (1) 報告事項:各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況
平成30年 1月	1. 定例会議:27日予定 院内インフルエンザ流行中にて今月の委員会開催中止
2月	1. 定例会議:28日 (1) 報告事項:各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況
3 月	1. 定例会議:28日 (1) 報告事項:各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況 2. 今年度各種評価とりまとめ



29年度も精神科地域移行実施加算の対象となる5名の退院を達成できた。帰結先が施設になることが多く、対象者の高齢化が進んでおり単身生活が難しいケースが多くみられる。退院する際には地域の社会資源などサポートを利用していくことが大切になってくると思われる。また、介護認定が済んでいないことで施設への退院を逃してしまう場合もあるため、ある年齢以上の人は介護認定を受けるなど、退院後のことを見据えた対応が必要となる。

地域生活準備プログラム (計 5 回) を実施した。実際に地域の様子や住居など見ていただくことで不安の軽減や生活のイメージしやすくなったと思われる。

地域との連携については昨年度に続き、地域機関との連絡会を1回開催し、長期入院者に関する情報共有や意見交換を 行った。長期入院精神障害者に対する支援と連携を共通課題とし、今後も継続して行っていきたい。

文 責 布川征一郎

業務改善委員会

【構成員】

委員長:佐藤敦子•事務局:後藤孝英

9名(医師1名 看護師3名 薬剤師1名 精神保健福祉士1名 事務員2名 看護補助員1名)

月日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎月	定例会議 第 1 木曜日 15:30~
平成29年 4月	1. 定例会議 6日 (1) 協議事項:①点滴の払い出しについて ②現病歴について ③地域連携時情報共有シートについて ④看護技術マニュアル、共通業務マニュアルについて ⑤他医療機関受診時の薬剤の取り扱いについて ⑥個人ファイルの整理について ⑦外来カルテの取り込み内容の確認について
5 月	1. 定例会議 11日 (1) 協議事項:①点滴の払い出しについて ②地域連携時情報共有シートについて ③検査の実施処理について ④他科受診名簿について ⑤看護技術マニュアル、共通業務マニュアルについて ⑥他医療機関受診時の薬剤の取り扱いについて ⑦電子カルテ上の頓服残薬表示について
6月	1. 定例会議 1日 (1) 協議事項:①点滴の払い出しについて ②検査の実施処理について ③看護技術マニュアル、共通業務マニュアルについて ④他医療機関受診時の薬剤の取り扱いについて ⑤電子カルテ上の頓服残薬表示について ⑥医療保護入院者の退院支援委員会の流れについて ⑦他科受診名簿について
7月	1. 定例会議 6日 (1) 協議事項:①点滴の払い出しについて ②検査の実施処理について ③看護技術マニュアル、共通業務マニュアルについて ④面会票の記載について ⑤電子カルテについて(職員区分名称、所属区分名称の変更、整理について・ 文書作成時の日付入力について・フローシート項目の追加について)
8月	 定例会議 3日 (1) 協議事項:①点滴の払い出しについて ②検査の実施処理について ③退院請求フローについて ④看護技術マニュアル、共通業務マニュアルについて ⑤面会票の記載について ⑥退院後、当院に通院する患者の検査オーダーについて ⑦退院後個人ファイルの処理について ⑧電子カルテについて(バージョンアップ作業について・外出・外泊申請書の注意書きの追加について・介護認定の状況把握について)
9月	1. 定例会議 7日 (1) 協議事項:①退院請求フローについて ②面会票の変更について ③電子カルテについて(外出・外泊指示テンプレートの選択項目の修正につ いて・レントゲン、CTの実施権限について)
10月	1. 定例会議 12日 (1) 協議事項:①退院請求フローについて ②部屋の施錠要望書マニュアルの作成について



月日	議 事 及 び 活 動 内 容
11月	1. 定例会議 2日 (1) 協議事項:①点滴の払い出しについて ②部屋の施錠要望書マニュアルの作成について ③アナムネ用紙について ④外出(外泊)申請書について
12月	1. 定例会議 7日 (1) 協議事項:①点滴の払い出しについて ②部屋の施錠要望書マニュアルの作成について ③各委員会等の議事録の回覧について ④電子カルテについて(外出泊の実施確認解除について・電話、面会の指示 確認について)
平成30年 1月	1. 定例会議 11日 (1) 協議事項:①部屋の施錠要望書マニュアルの作成について ②電子カルテについて(外出泊の実施確認解除について)
2月	院内感染の拡大防止のため中止
3月	1. 定例会議 1日 (1) 協議事項:①部屋の施錠要望書マニュアルの作成について ②医療保護入院者の退院支援委員会の流れについて

【実 績】

- ・ 「医療保護入院者の退院支援委員会の流れ」マニュアル作成
- 「血液培養検査における技術」マニュアル作成
- 「部屋の施錠要望書」マニュアル作成
- ・外出・外泊許可申請書に「必要指示薬」の記入欄追加
- ・「面会票」を「病棟来訪記録票」へ名称、書式変更
- ・「退院請求フロー」を参考資料として配布
- ・点滴払い出しBOXの導入
- ・看護技術マニュアルの電子化
- ・共通業務マニュアルの電子化

〈電子カルテ関係〉

- ・検査実施の権限を検査科のみに変更
- ・レントゲン・CT実施の権限を医師と放射線技師のみに変更
- 外出泊の実施確認作業を無効化
- ・外出・外泊指示テンプレートの選択項目を修正変更
- ・外出・外泊申請書の留意事項にコメント追加
- フローシートに項目追加
- ・定期採血の指示コメントを検査科で入力できるように変更
- ・職員区分・所属区分の変更
- ・文書作成日を自動入力から手動入力に変更

【評 価】

今年度は病棟業務の統一化を目指し業務の見直し、効率化を図るべく様々な課題に取り組んだ。また電子カルテの使用における細かな改善を行った。次年度は、各種マニュアルの電子化を進めるとともに、課題があればその都度、委員会で検討し早期の改善に向けて取り組みたい。

文 責 後藤 孝英

未収金対策委員会

委員長:鈴木好文•事務局:川島博幸

【構成員】

6名(医師2名 看護師1名 精神保健福祉士1名 事務員2名)

【議事及び活動内容】

月日	議事及び活動内容
毎月	定例会議 第2月曜日 16:00 未収金の状況把握及び対応・対策を検討する。
平成29年 4月	1. 定例会議:10日 (1) 報告事項:①1月時点の未収金報告 ②滞納者へのアプローチ状況報告
5月	1. 定例会議:8日 (1) 報告事項:①2月時点の未収金報告 ②滞納者へのアプローチ状況報告
6月	1. 定例会議:12日 (1) 報告事項:①3月時点の未収金報告 ②滞納者へのアプローチ状況報告 (2) 検討事項:①身寄りの無い方の入院依頼の対処
7月	1. 定例会議:10日 (1) 報告事項:①4月時点の未収金報告 ②滞納者へのアプローチ状況報告 (2) 検討事項:①文書料返金方法について
8月	未開催
9月	1. 定例会議:11日 (1) 報告事項:① 6 月時点の未収金報告 ②滞納者へのアプローチ状況報告 (2) 検討事項:①入院申込書類が調う前の退院者への対応
10月	1. 定例会議:10日 (1) 報告事項:①7月時点の未収金報告 ②滞納者へのアプローチ状況報告
11月	1. 定例会議:13日 (1) 報告事項:①8月時点の未収金報告 ②滞納者へのアプローチ状況報告
12月	1. 定例会議:11日 (1) 報告事項:①9月時点の未収金報告 ②滞納者へのアプローチ状況報告 ③振込の報告
平成30年 1月	未開催
2月	未開催
3月	1. 定例会議:13日 (1) 報告事項:①12月時点の未収金報告 ②滞納者へのアプローチ状況報告 (2) 検討事項:①次年度委員会について

【評 価】

平成29年度は、入院診療費等未収金対象者、延べ人数206(-11)人、平均17.1人、実人数40(+3)人、内12ヶ月継続未収残高者12(+3)人(30%)、期首と期末の差額は約-59万円と未収金額は減少した。引き続き、アプローチを続けるとともに、新たな未収金の発生がないよう、早めの対策を講ずる。

文 責 川島 博幸



心理社会療法委員会

事務局:中川甚一郎

【構成員】

9名(看護師5名 作業療法士1名 精神保健福祉士2名 臨床心理士1名)

月 日	議事及び活動内容
毎月	定例会議 第 1 火曜日 16:00~ 病棟内の心理社会療法プログラムの活動状況の把握と問題点の確認、解決
平成29年 4月	1. 定例会議: 4日 (1) 報告事項:①心理社会療法委員会の目的の確認 ②現状の活動報告と今後の課題 (2) 検討事項:①SSTの3・4階病棟での実施について
5月	1. 定例会議:9日 (1) 検討事項:①病棟プログラムの横断的参加について ②精神科救急病棟で気分障害の心理教育プログラムについて ③回想法のコストの取り方と横断的参加について ④3階・4階病棟でのSST実施について
6月	1. 定例会議: 6日 (1) 検討事項:①プログラムの運営状況の確認と今後の方向性の検討 ②心理社会療法プログラムメインスタッフの育成について
7月	1. 定例会議:11日 (1) 検討事項:①プログラムについて(横断的なプログラムの試みについて) ②心理社会療法プログラムの次世代のメインスタッフについて ③当委員会からの学会参加について
8月	1. 定例会議: 1日 (1) 検討事項:①当委員会からの学会参加について ②心理社会療法プログラムの次世代のメインスタッフについて
9月	1. 定例会議: 5 日 (1) 報告事項:① SST中級者研修の報告 ②標準版家族心理教育研修会について (2) 検討事項:①学会参加について ②作業療法科の病棟担当制におけるプログラムのコスト化について
10月	1. 定例会議: 3日 (1) 検討事項:①学会・研修会参加について ②千秋・島見精神科勉強会について ③作業療法科の病棟担当制におけるプログラムのコスト化について ④大阪府立精神医療センターの見学・研修について
11月	1. 定例会議:7日 (1) 報告事項:①大阪府立精神医療センター見学について (2) 検討事項:①学会・研修会参加について ②千秋・島見精神科勉強会について ③OTの心理社会療法プログラムの参加について ④重度かつ慢性患者を対象としたSSTについて
12月	1. 定例会議:5日 (1) 報告事項:①学会・研修会参加の報告 (2) 検討事項:①NPO法人新潟市精神障害者地域家族会の講師依頼について ②次年度委員会起案による学会参加について ③ヤンセンファーマ株式会社の統合失調症治療に関する研修ビデオの作成体頼について ④韓国の国立羅州病院(ナジュ病院)の施設見学について ⑤5階の心理教育プログラムについて

月 日	議 事 及 び 活 動 内 容
平成30年 1月	1. 定例会議:16日 (1) 検討事項:①各病棟における、心理社会プログラムの実施状況について
2月	未開催
3 月	1. 定例会議:8日 (1) 報告事項:①学会・研修会参加・報告 ②病棟のプログラム報告

本年度は、委員会の目的として①救急・地域移行のためのプログラムの有機的な連携②心理社会療法プログラムの拡充 ③心理社会療法プログラムのコスト捻出を主に会議を開催した。精神科救急病棟が起動し、目まぐるしく変わる入院患者 の動向に柔軟に対応し、ニーズに沿った心理社会療法プログラムを提供するため、病棟の枠を超えてプログラムを検討し たが、十分な検討には至らなかった。しかし、作業療法科が病棟担当制になったことにより、作業療法科の協力を得なが らプログラムのコスト化は徐々に現実的になりつつある。次年度も患者に有益な心理社会療法プログラムを提供できるよ う、努力したい。

文 責 中川甚一郎



デイケア科運営委員会

事務局:川島浩也

【構成員】

10名(医師1名 看護師3名 精神保健福祉士4名 作業療法士2名)

月 日	議事及び活動内容
毎月	毎月第3水曜日 16:15~ デイケア実績報告、通所・試み・見学予定者報告
平成29年 4月	1. 定例会議:19日 (1) 報告事項:①平成29年3月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告登録98名、延 ベ利用数931名、1日平均42.3名 ②デイケア及び訪問看護支援統合プログラム、モニタ―会議を2週に1回実施
5 月	1. 定例会議:17日 (1) 報告事項:①平成29年4月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告登録99名、延 ベ利用数855名、1日平均42.7名 ②ハローワークとの連携モデル事業で男性メンバーが事業終了、今後職業体 験実施
6 月	1. 定例会議:21日 (1) 報告事項:①平成29年 5 月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告登録103名、 延べ利用数862名、1 日平均43.1名
7月	1. 定例会議:19日 (1) 報告事項:①平成29年 6 月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告登録102名、 延べ利用数908名、1 日平均41.2名
8月	1. 定例会議:16日 (1) 報告事項:①平成29年7月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告登録101名、 延べ利用数825名、1日平均41.2名 ②ピアサポーター専門員研修(東京)にメンバー2名参加 ③五泉市のピアサポーター研修にメンバー4名参加
9月	1. 定例会議:20日 (1) 報告事項:①平成29年8月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告登録103名、延べ利用数947名、1日平均43名 ②障害者芸術文化祭で作品出展、ハンドベルステージ発表 ③WRAPファシリテーター養成研修にスタッフ1名、メンバー1名参加 ④新潟市地域移行・地域定着支援研修会の当事者発表でメンバー2名発表
10月	1. 定例会議:18日 (1) 報告事項:①平成29年9月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告登録103名、 延べ利用数847名、1日平均42.3名
11月	1. 定例会議:15日 (1) 報告事項:①平成29年10月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告登録105名、 延べ利用数816名、1日平均38.8名 ②障害者芸術文化祭にハンドベルグループ参加 ③ピアサポーター専門員研修(東京)にメンバー2名参加
12月	1. 定例会議:20日 (1) 報告事項:①平成29年11月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告登録109名、 延べ利用数797名、1日平均39.8名 ②メンバー2名がハローワーク連携事業で契約、段階的に就労を目指す

月日	議 事 及 び 活 動 内 容
平成30年 1月	1. 定例会議:17日 (1) 報告事項:①平成29年12月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告登録112名、 延べ利用数802名、1日平均38.1名 ②暁懇談会実施7家族9名参加 ③女性メンバー正式に当院雇用契約
2月	1. 定例会議:21日 (1) 報告事項:①平成29年1月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告登録113名、 延べ利用数737名、1日平均38.7名 ②デイケアおよび訪問支援統合化プログラムに研究協力開始 ③家族相談会を開催、6家族9名が参加
3 月	1. 定例会議:14日 (1) 報告事項:①平成29年2月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告登録114名、 延べ利用数741名、1日平均39.0名 ②家族参加型の18周年記念イベント開催 ③新潟精神看護研究会で元メンバー当事者発表 ④ピアサポーターフォローアップ研修(東京)にメンバー2名参加

本年度はピアサポーター専門員研修などにも積極的に参加した。当院だけでなく外部にも活躍の場を広げていきたい。WRAPファシリテーター養成研修にも参加し正式なファシリストを育成できた。今後は就労支援、SST、ピアサポーターなど各プログラムを充実させ、若い人にも目的別の支持層を定着させていきたい。ハンドベルグループでは昨年に続き障害者芸術文化祭で演奏し、デイケア暁をアピールしている。また日々の参加者人数を増やす為、病棟へ出向き積極的なPR活動を作業療法科と連携し、ピア活動の一環として取り組んでいきたい。

文 責 川島 浩也



事後審査委員会

委員長:川嶋義章・事務局:早川亜樹

【構成員】

4名(医師1名 看護師2名 精神保健福祉士1名)

【議事及び活動内容】

月日	議事及び活動内容
毎月	1. 定例会議 第 4 木曜日 9:15 緊急時における入院等(特定医師による任意入院患者の退院制限、医療保護入院、応急入 院)に係る診察の特例措置の判断の妥当性について検証
平成29年 4月	1. 定例会議:27日 (1) 審議対象者なし
5 月	1. 定例会議:25日 (1) 審議対象者なし
6 月	1. 定例会議:22日 (1) 審議対象者なし
7月	1. 定例会議:27日 (1) 審議対象者なし
8月	1. 定例会議:24日 (1) 審議対象者なし
9月	1. 定例会議:28日 (1) 入院者1名について特定医師による診察の特例措置の判断の妥当性について検証
10月	1. 定例会議: 26日 (1) 入院者1名について特定医師による診察の特例措置の判断の妥当性について検証
11月	1. 定例会議:30日 (1) 審議対象者なし
12月	1. 定例会議:28日 (1) 入院者1名について特定医師による診察の特例措置の判断の妥当性について検証
平成30年 1月	1. 定例会議:25日 (1) 審議対象者なし
2 月	1. 定例会議: 22日 (1) 審議対象者なし
3 月	1. 定例会議:22日 (1) 審議対象者なし

【評 価】

平成29年度は計3件の入院について、特定医師による診察の特例措置の判断の妥当性について検証した。審査の結果、いずれも処遇は妥当であることが認められた。

次年度も引き続き、法令を順守した委員会運営を心掛けていきたい。

文 責 早川 亜樹